

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年3月27日公表

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|----|----|-----------------------------------|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | | ○ | 国の基準で定められた児童1人当たりの広さ以上のスペースは確保しており、室内を児童と放デイに分けた状態でも十分な活動スペースを作ることができています。 | 今後も定員と室内の広さが適切な関係となるよう努めてまいります。 |
| | 2 | | ○ | 職員配置数は国が基準とする配置数を上回る配置数を確保しています。 | 適正な配置数を確保していることをご理解いただけるよう、児童指導員、保育士、専門職が十分に配置されていることを今後も継続してお伝えしてまいります。 |
| | 3 | | ○ | 室内は概ねバリアフリーです。今後も安全性に配慮し、障がいの特性やそれぞれの児童の個性に合わせた環境を整えて、心地よく過ごせるように配慮を継続してまいります。 | 現時点では、車椅子使用の児童はいませんが、今後受け入れに関して相談を受けた場合、環境整備、対応について協議検討してまいります。 |
| | 4 | | ○ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している | 勤務時間の関係で出席できない職員にも議事録を通して情報共有と認識一致に努めてまいります。 |
| 業務改善 | 5 | | ○ | 今年度初めてのアンケートを実施し、保護者様のご意向の確認をおこないました。 | 保護者様のご意見を助言としてより良い支援ができるよう業務改善に努めてまいります。 |
| | 6 | | ○ | COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトにて公開致します。 | 今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開をおこなってまいります。 |
| | 7 | | ○ | 現時点では第三者による外部評価は行われていません。 | 第三者からの評価受審については、今後の検討課題と致します。 |
| | 8 | | ○ | 年度途中での開所、またコロナ禍であり、外部研修の参加機会はありませんでしたがオンライン研修や事業所内研修などで積極的に研修の機会を確保しています。 | 今後も内外を問わず、定期的に研修の機会を設け、職員の資質・能力の向上に努めてまいります。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | | ○ | 定期的なアセスメントを適切に実施し、保護者様のご意向や児童の状況を踏まえて児童発達支援計画を作成しています。 | アセスメントや担当者会議等での情報共有を図り、より良い支援計画を作成出来るよう努めてまいります。 |
| | 10 | | ○ | 法人で作成し、統一されたアセスメントシートを使用しております。 | 今後も標準化されたシートを活用した適切なアセスメントで状況の把握へと努めてまいります。 |
| | 11 | | ○ | 多彩な活動プログラムや、季節の活動プログラムを取り入れています。また理学療法士や、作業療法士の指導のもと、ヨガや身体動かす訓練、巧緻性向上のイベントも提供しています。 | 引き続き、児童が楽しく通いながら成長できるような活動プログラムを職員全員で関わって作成していきます。 |
| | 12 | | ○ | 一人ひとりの特性・興味に合う活動を定時し、プログラムが固定化されないよう工夫しています。 | 習慣化を狙う固定した活動と並行して児童一人ひとりの発達段階に合わせた学習、学習を通じて学べるプログラム、季節に合わせた行事など、多彩な活動プログラムを実施していきます。 |
| | 13 | | ○ | 短時間という制約のある平日には学習支援が中心となりますが、休日や長期休みには制作やイベントなどを盛り込んでバラエティ豊かな活動を提供しています。 | コロナ収束後の休日には、人との関わりで経験する喜びや屋外活動なども検討し、児童の満足度の高い活動を企画してまいります。 |
| | 14 | | ○ | 一人ひとりの特性に応じた目標を設定し、個別活動・集団活動と適宜組み合わせた支援計画を作成しております。 | 今後も個別活動・集団活動を組み合わせ、個々に合った支援計画を作成してまいります。 |
| | 15 | | ○ | 朝礼では当日の予定についての共有や児童の支援内容について打ち合わせをおこなっています。 | 今後も支援開始前の情報共有と確認を継続してまいります。 |
| | 16 | | ○ | 支援終了後には、送迎や退勤時間のさがあるため全員参加は難しいのですが、打ち合わせはおこない、不在の職員については記録を残し、共有しています。 | より良い支援のため、今度も引き続きは確実におこなってまいります。 |
| | 17 | | ○ | 支援したその日に必ず個別経過記録をとっています。記録は支援の検証・改善につなげています。 | 今後も細やかな記録の記載を徹底し、より良い支援をおこなえるよう努めてまいります。 |
| | 18 | | ○ | 定期的なモニタリングをおこない、児童の成長や変化、保護者様のご意向に沿った計画を作成出来るよう、見直しをおこなっています。 | 必要に応じて期間を問わずモニタリングを実施し、計画の見直しの必要性を検討してまいります。 |
| 19 | | ○ | ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている | 今後もより一層成長へと繋がる計画を立てられるよう尽力してまいります。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | | ○ | 児童発達支援管理責任者が参加しています。 | 今後も児発管が参画し、必要に応じて専門職員の立ち会いも検討いたします。 |
| | 21 | | ○ | 学校行事や下校時間変更による送迎への影響などについては保護者様を通して、あるいは担任の先生との直接の情報提供を相互におこなっています。 | 今度も、できるだけ情報共有をおこない、連絡調整に努めてまいります。 |
| | 22 | | ○ | 現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。 | 事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。 |
| | 23 | | ○ | 相談支援専門員を交えて、幼稚園・保育園などは電話連絡や相互で訪問をするなどして、情報提供を受けて、より良い支援に繋がるように努めています。 | 今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。 |
| | 24 | | ○ | 現時点では卒業予定の児童はおりませんが、今後利用児童が卒業を迎えることとなった場合は、移行先への十分な情報提供のため書類を整備し、情報提供に努めてまいります。 | 将来の卒業生のために関係機関と連携し、支援内容等の情報共有と相互理解を図り、役立てていただけるよう準備に努めてまいります。 |
| | 25 | | ○ | 担当者会議に参加し、助言を受け、専門機関との連携に努めています。 | 今後も会議には積極的に参加し、助言を求め、より良い支援に繋げてまいります。 |
| | 26 | | ○ | コロナ感染予防の観点から、現時点では児童の交流機会は作れていません。 | プライバシーを尊重したいというご意向の保護者様もおられることから、コロナ収束後には改めて保護者様のご意向を伺いながら検討していきます。 |
| | 27 | | ○ | 今年度はコロナの影響で参加機会はありませんでした。 | コロナ収束後には、自立支援協議会の部会員として参加し、意見等を出し合い、地域活動をおこなってまいります。 |
| | 28 | | ○ | 連絡帳を通して療育での様子をお伝えし、療育中に見つかった課題などについて、送迎時や家庭連携時に情報共有に努めています。保護者様とのごまめな情報共有と更新で共通理解を図り、より良い支援に繋がるように今後も継続してまいります。 | 保護者様と共通認識を持つことで児童がご家庭と事業所で混乱しないように十分に配慮した支援に努めてまいります。 |
| | 29 | | ○ | 保護者様から支援についてのご質問・ご相談があった場合にはすぐに職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者や保育士、専門職からアドバイスさせていただいております。子育てのお悩みやご相談についても、傾聴を心がけ、少しでもお困りごとの解消に繋がるよう助言に努めています。 | 今度も、より一層保護者様へ支援できるよう努めてまいります。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | | ○ | ご契約時に、保護者様に分かりやすく丁寧な説明を心掛けており、書面と、口頭での説明をさせていただきます。 | 今度も保護者様に分かりやすい説明を心掛けていきます。 |
| | 31 | | ○ | 連絡帳のやりとりや送迎時の面談、家庭連携の機会だけでなく、電話や必要に応じて家庭訪問や事業所での面談など、あらゆる機会を作ったりお話を伺う機会を作るように心がけ、できる限りの助言に努めています。 | 今後も、保護者様からご相談があった場合には、情報収集や職員間の共有をおこない、早急に対応できるよう努めてまいります。 |
| | 32 | | ○ | 本年度は、感染症予防の観点から、父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。 | コロナ収束後に、保護者様のご意向に配慮しながら交流機会を検討してまいります。 |
| | 33 | | ○ | 苦情受付窓口と苦情解決のそれぞれの担当を契約書に明記しています。ご意見には積極的に耳を傾ける姿勢で臨み、児童や保護者様が相談しやすい環境作りを努めています。 | ご意見や相談があった際には、縦、横の連携を図り迅速かつ早期解決に向けて、適切に対応できるよう心掛けていきます。 |
| | 34 | | ○ | 公式 Web サイトのブログにて3ヶ月に1回程事業所の様子をお伝えし、また年4回「お便り」を季刊発行しています。カレンダーと事業所の様子を毎月配布します。 | 今後も継続して公式 Web サイトのブログ、カレンダー、SNS、YouTubeなどで療育の様子を発信してまいります。 |
| | 35 | | ○ | 個人情報ファイルは鍵付き書庫にて保管・管理し、個人情報に記載された書類の使用後の廃棄は、シュレッダーを利用しています。 | 今度も個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。 |
| | 36 | | ○ | 児童とは特性や個性に配慮した情報伝達を心がけ、児童が理解できるように話しています。保護者様とは、契約時や日々の児童の様子についても、専門用語を避け、できるだけわかりやすい言葉を使用するように心掛けております。 | 情報伝達には連絡帳や電話連絡を使っておりますが、送迎時やお迎え時に、より詳しい内容をお伝えしています。 |
| | 37 | | ○ | 現在までは、地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした。 | 今後の検討課題とし、どのように企画していくか考察してまいります。 |
| 非常時の対応 | 38 | | ○ | 各種マニュアルは整備し、事業所に掲示しています。保護者様にご安心いただくため、契約時等に改めて丁寧な説明を心掛けてまいります。 | 保護者様に訓練内容について知っていただけるよう毎月のカレンダーや、事業所便りにてきめ細やかな情報発信に努めてまいります。 |
| | 39 | | ○ | 定期的な地震、火災、風水害、不審者への対応訓練や避難訓練を実施しております。 | 訓練内容をご理解していただけるよう事業所便りにてきめ細やかな情報発信に努めてまいります。 |
| | 40 | | ○ | 虐待防止の研修を実施し、虐待防止について学んでいます。 | 今後も事業所内での研修を継続し、職員の意識向上に努めてまいります。 |
| | 41 | | ○ | 利用契約書には身体拘束についての禁止を謳っており、事業所としては原則身体拘束をおこなわない方針ですが、万が一、生命の危険や事故に繋がる可能性があるかと判断された場合に限り、児童や保護者様に十分な説明のうえ、同意を得て支援計画書の事項として記載しています。 | 今後も原則として身体拘束はおこなわない姿勢を守りながら、あらゆる必要となる場合には、あらかじめ保護者様に同意を得て、支援計画にも記載してまいります。 |
| | 42 | | ○ | アレルギーについては初回アセスメント時に保護者様から聞き取りをおこない、全職員へ周知・情報共有を徹底し、医師の指示書がある場合は指示書に基づく対応に努めます。 | 定期的な情報更新に努め、今後も職員への周知を徹底し、食物の提供をおこなう場合には細心の注意を払ってまいります。 |
| | 43 | | ○ | ヒヤリハットが発生した場合には、直ちに報告書を作成し、定期的に勉強会に報告情報共有に努めています。 | 引き続き事例を情報共有し、全職員で意識して、再発防止や、児童が安全に過ごせるように努めてまいります。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。